

1. 教科で育成したい資質・能力

①情報活用の実践力

◇課題や目的に適した情報手段は何かを考え、主体的に選ぶことができる力

②情報の科学的理解

◇情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解し、特性を踏まえて情報手段を適切に選択し活用する力

③情報社会に参画する態度

◇社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解

◇望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

2. 具体的取組（理論）

◇対話的な学びをする機会をつくり、その中で、社会生活で情報や情報技術が果たしている役割や影響、特に情報化の「光」と「影」の両面から情報社会について理解を深める。

○情報通信として、掲示板に情報に関する出来事を掲示し、社会に関わる情報についての興味・関心を高め、グループで協議をさせる。

○円滑な SNS 利用を学ぶ教材として、(株)ラインコミュニケーションズの教材を活用しながら、現代のリアルなコミュニケーションを再現し、SNS におけるコミュニケーション理解を深める。

3. 具体的取組（実習）

◇インターネットを通じて情報を得たり、文書作成や編集にアプリケーションを活用したり、文字入力やデータ保存などに関する技能の着実な習得を目指す。

○Word

文字の入力や文書と表の作成。

○Excel

関数を利用した表計算とそのデータに基づくグラフの作成。

○PowerPoint

情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造するという情報を取り扱う一連の活動の実習として、プレゼンテーションを行う。

○プログラミング（プログラミング言語「ドリトル」・・・オブジェクト指向プログラミング言語学習）

グラフィックス（アニメーション）やゲームのプログラミングで、楽しく概念を学ぶ。

4. 今後の取組

◇統計（データの扱い）

○問題の発見・整理・解決の中で統計の処理やビッグデータの解析などの情報の活用

○数学科との連携

◇プログラミング

○プログラミングの働きにより生活の便利さや豊かさがもたらされていることを理解し、プログラミング的思考などを育む

○生活、教科等の学習との関連付け、小・中・高等学校を見通した、プログラミング教育を推進する。